

平成 20 年 4 月 17 日

各 位

会 社 名 ラックホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 三 柴 元
 コード番号 3 8 5 7
 (大証ヘラクレス、ジャスダック)
 問 合 せ 先 取締役執行役員
 経営企画室長 白 石 通 紀
 電話：0 3 - 5 5 3 7 - 1 4 0 0

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 20 年 3 月期通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の業績予想について、平成 20 年 1 月 31 日付「業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期通期業績予想数値の修正

(1) 連結通期業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日） (単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|------------------------------------|--------|-------|-------|-------|-----------------|
| 前回発表予想 (A) (平成 20 年 1 月 31 日発表) | 21,900 | 1,530 | 1,450 | 700 | 24 円 74 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 21,899 | 1,768 | 1,702 | 881 | 32 円 43 銭 |
| 増減額 (B - A) | △0 | 238 | 252 | 181 | — |
| 増減率 | △0.0% | 15.6% | 17.4% | 25.9% | — |

(注) 1. 当社の設立は平成 19 年 10 月 1 日ですが、連結業績予想につきましては、完全子会社となった株式会社ラックの財務諸表を引き継ぎ、期首に設立したものとみなして予想したものであります。

2. 上記連結業績予想は、子会社である株式会社ラックが決算期を 12 月から 3 月に変更したことから、株式会社ラックの平成 19 年 1 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日までの 15 ヶ月決算を反映することといたしました。

なお、上記連結業績予想に含まれる、平成 19 年 1 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日までの株式会社ラックの個別業績は、売上高 2,019 百万円、営業利益 329 百万円、経常利益 322 百万円、当期純利益 184 百万円であります。

3. 1 株当たり予想当期純利益（通期）の算出に当たっては、平成 20 年 3 月期の期中平均株式数を使用して計算しております。

(2) 個別通期業績予想 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|------------------------------------|------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想 (A) (平成 20 年 1 月 31 日発表) | 800 | 246 | 227 | 132 | 4 円 67 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 800 | 259 | 236 | 154 | 5 円 63 銭 |
| 増減額 (B-A) | — | 13 | 9 | 22 | — |
| 増減率 | — | 5.6% | 4.3% | 17.2% | — |

(注) 1. 1株当たり予想当期純利益(通期)の算出に当たっては、平成20年3月期の期中平均株式数を使用して計算しております。

2. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想

① 連結売上高

システムインテグレーション事業(以下、S I S事業という。)では、前回予想をやや下回る見通しとなり、セキュリティソリューション事業(以下、S S S事業という。)では、コンサルティングサービスの受注が前回予想に比べ増加しました。一方、グループ内取引による売上の内部相殺は、リソースの有効活用を積極的に行った結果、前回予想に比べ増加し320百万円となる見込みであります。

この結果、連結売上高は21,899百万円となる見通しであります。

② 連結営業利益

S I S事業において、生産性向上や外注費の抑制などの効果により原価率が下がる見込みであること、S S S事業において、コンサルティングサービスの売上高が増加する見込みであることなどにより、売上総利益が前回予想に比べ増加する見通しであります。また、S S S事業の営業強化に向け販売部門への積極的な人材採用などにより、販売費は前回予想に比べ増加する見込みですが、両事業とも業務効率の改善や経費削減に努め、一般管理費は前回予想を下回る見通しであります。

この結果、連結営業利益は1,768百万円(前回予想比238百万円増)となる見通しであります。

③ 連結経常利益

連結営業利益の増加に伴い、連結経常利益は1,702百万円(同252百万円増)となる見通しであります。

④ 連結当期純利益

連結営業利益、連結経常利益の増加に加え、滞留債権の処分などによる課税所得の減少に伴う税金費用の減少などにより、連結当期純利益は881百万円(同181百万円増)となる見通しであります。

⑤ 1株当たり連結当期純利益

連結当期純利益の増加に加え、機動的な資本政策の遂行および株主利益の増大を目的とした自己株式の取得を実施したことにより、1株当たり当期純利益は32円43銭となる見込みであります。

(2) 個別業績予想

営業収益は前回予想と同じ 800 百万円となりますが、経費削減に努めた結果、営業利益は 259 百万円（前回予想比 13 百万円増）、経常利益は 236 百万円（同 9 百万円増）、当期純利益が 154 百万円（同 22 百万円増）となる見通しであります。

・業績予想に関する注意事項

当資料に記載する業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。

以 上